

登山者・キャンパーや山林内で作業する皆さまへ

豚熱ウイルスの拡散防止と アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止に ご協力おねがいします

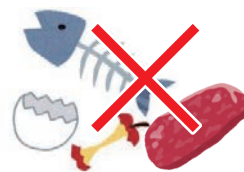
野生いのししの間で**豚熱**という病気が広がっています。
人間に感染することはありませんが、
豚に感染して養豚業に大きな被害を与えます。
ウイルスを山林から持ち帰らないよう、ご協力をお願いします。
また、アジア各国で**アフリカ豚熱**という病気が発生しています。
国内での発生はありませんが、侵入防止にご協力をお願いします。



1

肉を含む食品は

野外で絶対に捨てないでください！



2

ウイルスは土にも含まれます。

靴の泥は山で落としましょう。



3

家畜がいる施設や

野生いのししの罾や柵に

近寄らないようにしましょう。



神奈川県では約6万頭の豚が飼養されています。
彼らのいのちを病気から守るために、ご協力をお願いします。

豚熱・アフリカ豚熱について



豚熱、アフリカ豚熱は、ウイルスによる豚・いのししの病気で、人には感染することはない、仮に感染した豚肉や内臓を食べても人体に影響はありません。

両疾病は有効な治療法がなく、豚で感染が確認された場合、他の養豚農場に広がらないよう、発生農場の豚を処分することが家畜伝染病予防法で規定されています。

養豚農場の侵入を防ぐためには、野生いのししと豚との接点を断つことが重要です。

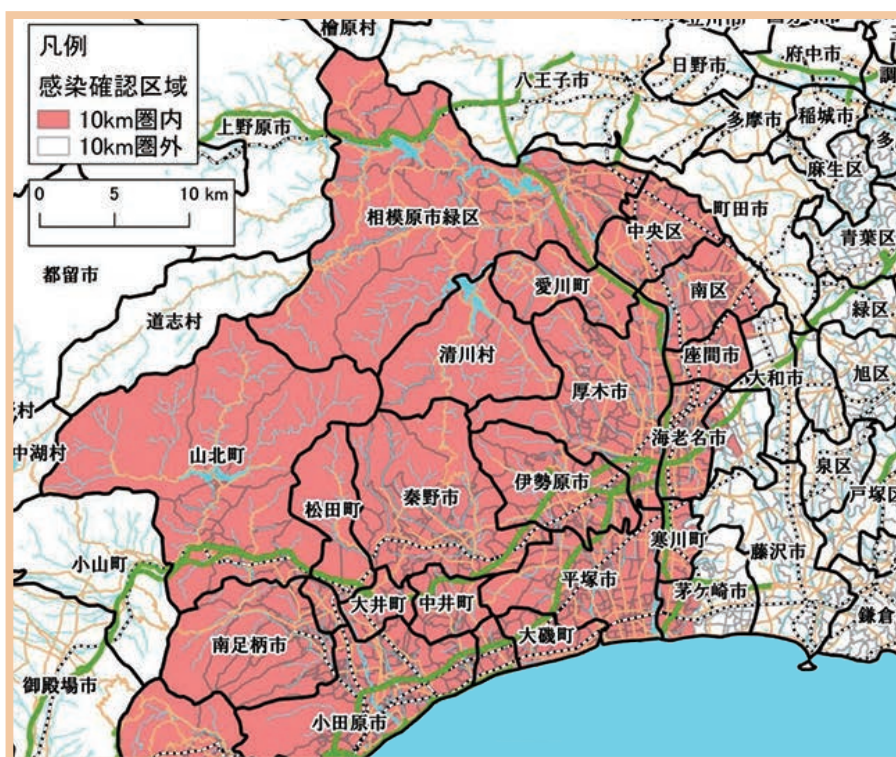
豚熱についてもっと詳しく

- 平成30年9月の岐阜県での発生以来、国内の豚・いのししで感染が確認されています。神奈川県では令和2年5月に野生いのししで感染確認、令和3年7月には、養豚場での発生がありました。
- 現在、県内の野生いのししで122例(令和7年8月末時点)の感染事例が確認され、感染確認区域(下図参照)が拡大しています。

アフリカ豚熱についてもっと詳しく

- 感染した豚の致死率はほぼ100%。有効な治療法やワクチンはありません。現在、国内での発生はありませんが、アジア各国で感染が拡大しており、特に日本から約50kmしか離れていない釜山広域市(韓国)での続発により日本への侵入リスクが高まっている状況です(令和7年8月末時点)。
- ウイルスは豚肉や加工品の中でも生存でき、感染源になる可能性があります。

神奈川県における野生いのししの豚熱感染確認区域



最新の情報は
こちらから

